Creative Enzymes®

ヒト由来のα-L-イデュロニダーゼ、再組換え

Cat. No. NATE-0930

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この酵素は、デマタン硫酸における非硫酸化α-L-イドロノシディック結合の加水分解を触媒します。リソソーム分解過程において、α-L-イドロニダーゼは重要な役割を果たします。これは、デマタン硫酸やヘパラン硫酸を含むGAGの非還元末端のα-L-イドロニック酸残基を加水分解します。デマタン硫酸やヘパラン硫酸などのグリコサミノグリカンの□性に関与しています。細胞のリソソームに存在します。
用途	α-L-イドロン酸デイダーゼは、新生児におけるα-L-イドロン酸デイダーゼ欠乏症の研究において白血球アッセイに使用される可能性があります。
別名	イドゥロニダーゼ; EC 3.2.1.76; L-イドゥロニダーゼ; アルファ-L-イドゥロニダーゼ; グリコサミノグリカン α-L-イドゥロノヒドロラーゼ; IDUA; α-L-イドゥロニダーゼ

製品情報

種	人間
由来	マウス NSO 細胞
形態	40 mM アセテートナトリウム、400 mM NaCl、20% (v/v) グリセロール、pH 5.0 の溶液として供給されます。
EC番号	EC 3.2.1.76
分子量	71 kDa
活性	>7,500 ユニット/µg タンパク質
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 3.5の条件下で4-methylumbelliferyl-α-L-iduronideから1分あたり1ピコモルの4-methylumbelliferoneを生成します。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで保管してください